

International Baccalaureate (IB)

本学の進路も視野に入れ、国際バカロレア (IB) 教育と社会情動スキル (SEL) を活用することで、将来の社会で活躍できる人材を育成することを目指す。

国際バカロレア (IB) 教育と社会情動スキル (SEL)

国際バカロレア (IB) 教育と社会情動スキル (SEL) は、グローバルな視点から、多文化理解と自己管理能力を高めることを目指す。

本学では、国際バカロレア (IB) 教育と社会情動スキル (SEL) を活用し、グローバルな視点から、多文化理解と自己管理能力を高めることを目指す。

ぐんま国際アカデミー中高等部



IBの使命: Mission statement



国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。

この目的のため、IBは、学校や政府、国際機関と協力しながら、チャレンジに満ちた国際教育プログラムと厳格な評価の仕組みの開発に取り組んでいます。

IBのプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、人がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人として、積極的に、そして共感する心をもって生涯にわたって学び続けるよう働きかけます。



IBの学習者像

すべてのIBプログラムは、国際的な視野をもつ人間の育成を目指しています。人類に共通する人間らしさと地球を共に守る責任を認識し、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する人間を育てます。

IBの学習者として、私たちは次の目標に向かって努力します。

探究する人

私たちは、好奇心を育み、探究し研究するスキルを身につけます。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりします。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生徒を通じてもち続けます。

知識のある人

私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。

考える人

私たちは、複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用します。率先して理性的で倫理的な判断を下します。

コミュニケーションができる人

私たちは、複数の言語やさまざまな方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現します。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合います。

信念をもつ人

私たちは、誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々がお互いに尊敬と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもちます。

心を開く人

私たちは、自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止めます。多様な視点を求め、価値を見だし、その経験を通じて成長しようと努めます。

思いやりのある人

私たちは、思いやりと共感、そして尊重の精神を示します。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動します。

挑戦する人

私たちは、不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合います。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探究します。挑戦と変化と未知に富んだ方法で快活に取り組めます。

バランスのとれた人

私たちは、自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解しています。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識しています。

振り返りができる人

私たちは、世界について、そして自分の考えや経験について、深く考察します。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解するよう努めます。

この「IBの学習者像」は、IBワールドスクール（IB認定校）が価値を置く人間性を 10 の人物像として表しています。こうした人物像は、個人や集団が地域社会や国、そしてグローバルなコミュニティの責任ある一員となることに資すると私たちは信じています。

IBの学習者像

Inquirers

探究する人

Knowledgeable

知識のある人

Thinkers

考える人

Communicators

コミュニケーションができる人

Principled

信念を持つ人

Open-minded

心を開く人

Caring

思いやりのある人

Risk-takers

挑戦する人

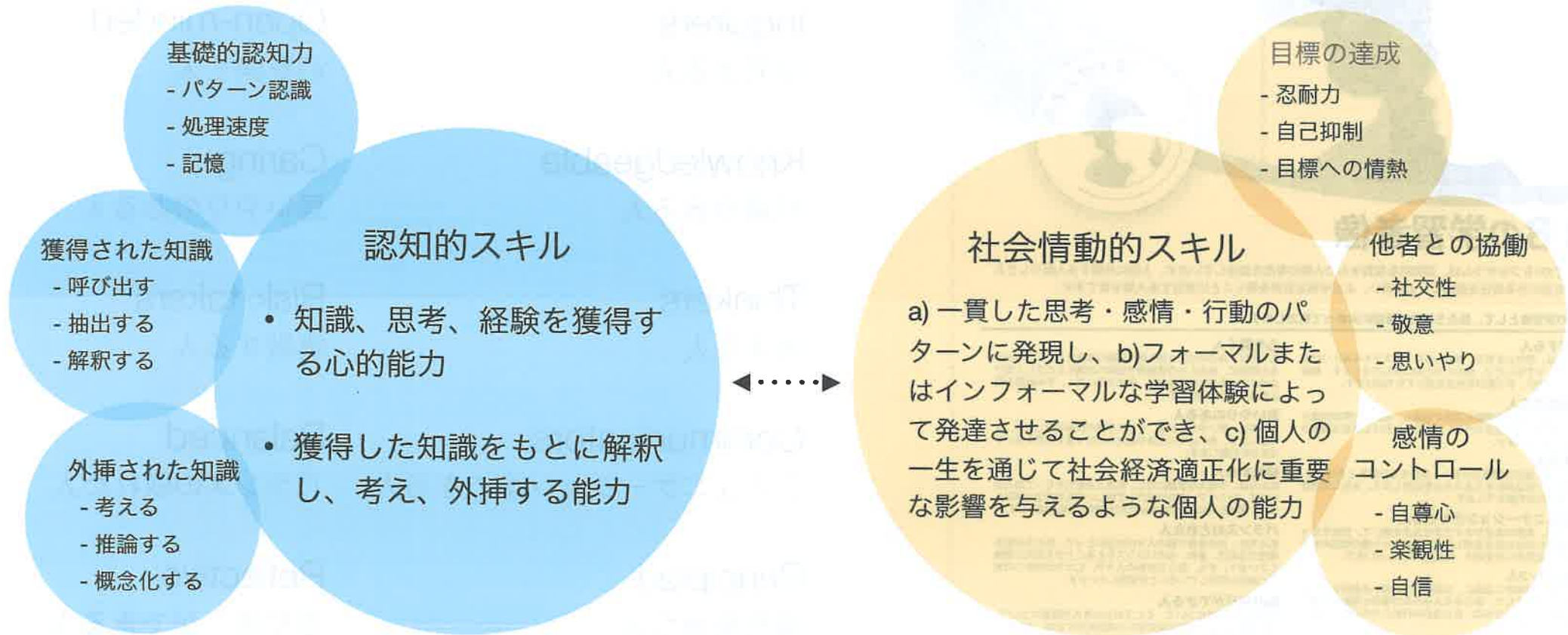
Balanced

バランスの取れた人

Reflective

振り返りができる人

OECD 認知的スキルと社会情動的フレームワーク



Approaches to Learning (ATL) 学習の方法（協働スキルの例）

ATL = Learn how to learn 学習の方法 = 学び方を学ぶ

ATL Skills (skills to learn better) ATLスキル（よりよく学ぶためのスキル）

ATL skill categories	MYP ATL skill clusters
Communication コミュニケーション	I. Communication コミュニケーション
Social 社会的	II. Collaboration 協働
	III. Organization 整理整頓
Self-management 自己管理	IV. Affective 情動
	V. Reflection 振り返り
Research リサーチ	VI. Information literacy 情報リテラシー
	VII. Media Literacy メディアリテラシー
	VIII. Critical thinking 批判的思考
Thinking 思考	IX. Creative thinking 創造的思考
	X. Transfer 転移

Collaboration: 協働スキル
関係を築き発展させるために、ソーシャルメディアネットワークを適切に用いる。
共感する。
意思決定のために責任を委譲し、共有する。
他者の成功のために手助けをする。
自分の行動に責任を持つ。
対立に対処し、問題を解決して、チームで協働する。
合意を形成する。
公平で、公正な決定をする。
他者の見解や考えに積極的に耳を傾ける
効果的に交渉する。
他者が貢献することを鼓舞する。
リーダーシップを発揮し、集団の中でさまざまな役割を引き受ける。
自身の権利とニーズを主張する。

Approaches to Learning (ATL) 学習の方法 (情動スキルの例)

ATL = Learn how to learn 学習の方法 = 学び方を学ぶ

ATL Skills (skills to learn better) ATLスキル (よりよく学ぶためのスキル)

ATL skill categories	MYP ATL skill clusters
Communication コミュニケーション	I. Communication コミュニケーション
Social 社会的	II. Collaboration 協働
Self-management 自己管理	III. Organization 整理整頓
	IV. Affective 情動
	V. Reflection 振り返り
Research リサーチ	VI. Information literacy 情報リテラシー
	VII. Media Literacy メディアリテラシー
	VIII. Critical thinking 批判的思考
Thinking 思考	IX. Creative thinking 創造的思考
	X. Transfer 転移

Affective: 情動スキル
専念し、集中する。
集中力を発達させるための方法を実践する。
注意力の乱れを克服する方法を実践する。
心と体も関連性を認識する。
粘り強さと忍耐を示す。
我慢することができる。
衝動性や怒りを克服する方法を実践する。
いじめを防止し、撲滅する方法を実践する。
ストレスや不安を減らす方法を実践する。
失敗の原因を分析し、特定する。
セルフトーク（心の中での自分との対話）を管理する。
前向きな思考を実践する。
逆境や誤り、失敗後の「回復」を実践する。
「上手に失敗すること」を実践する。
失望や満たされていない期待への対処を実践する。
変化への対処を実践する。

中学校 (MYP) の教科

MYP Subject groups MYPの教科	MEXT subjects 学指導要領の教科
Language Acquisition (LA) 言語の習得	ESL (英語) JSL (外国人のための日本語)
Language and Literature (L&L) 言語と文学	JLA (国語) or ELA (外国人とネイティブレベルの英語)
Individuals and Societies (I&S) 個人と社会	ESS (社会 (英)) JSS (社会 (日))
Sciences 科学	E-Sci (理科 (英)) J-Sci (理科 (日))
Mathematics 数学	E-Math (数学 (英)) J-Math (数学 (日))
Performing Arts, Visual Arts 芸術	Music (音楽 (英)) Arts (美術 (英))
Physical and Health Education (PHE) 保健体育	Physical and Health Education (保健体育 (英))
Design デザイン	Technology, Home Economics (技術・家庭科 (日))





IBの学びの特徴

Inquiry-based 探究に基づいている

好奇心を刺激することで、探究（心）を構造化し持続させる。

Concept-driven 概念主導である

新しい文脈に転移できる概念を通じて学習設計と指導を行う。

Contextualized 文脈に基づいている

個々の科目の枠をこえて関連性を持たせる。

Collaborative 協働である

効果的なチームワークと目的のある、あるいは生産的な協働を促す。

Differentiated 差別化されている

多様な学習者に学習へのアクセスを提供する。

Informed by Assessment 評価情報に基づいている

学習の評価と、生徒の学習を促す評価とのバランスを保つ。

学年プロジェクト（総合的な学習の時間、LHR）

年齢に応じた、その学年の学びの集大成。

サービス・ラーニング（誰かのために行動を起こす機会）。

他の生徒と協働する機会。

中1

SDGs インフォグラフィック、
Learning by Giving

（サービス・ラーニングを学ぶ）

中2

キャリア教育プロジェクト

（サービス・ラーニングに触れる）

中3

コミュニティープロジェクト

（サービス・ラーニングを実践する）



中3 コミュニティープロジェクトの例



さらに、高校のDPでは、

Inquiry-based: 全ての教科において課題探究

各教科において探究する機会。

Extended Essay: 課題論文

自分の興味に基づいた、英語で4,000語の学術論文。

CAS: 課外活動

誰かのために、自分のために行動を起こす。

CAS (Creativity: 創作的, Activity: 活動, Service: 社会奉仕) の例



おおたんプロジェクト
～魅力いっぱいの太田市を巡って素敵な景品をゲットしよう!!～

ゲームの参加方法：
① おおたんプロジェクトのSNSアカウントをフォロー
インスタアカウント

参加期間
2021/12/20 ～ 2021/1/31

ツイッター

QRコード: OTAN_PROJECT

Otan Project
地元・地域活性化

太田市の店舗の協力を仰ぎ、コロナ禍の中でも安心して楽しめる地域イベントとして地域・店舗ビンゴを開催。イベントによる地域の活性化に繋げるイベントとして実施。



No Boundaries Between Us
地域・国際交流

ブラジル人コミュニティとの交流の場を設けるため、サッカーを通じた地域・国際交流イベントを実施。延べ5回開催、幼稚園生から大人まで、のべ500人以上の参加。地域で問題となっている、ゴミの捨て方等の啓発活動も合わせて行う。



Yellow for the future
ファンドレイズ

小児がん医療支援のため、群馬クレインサンダースのホーム・ゲームでレモネードを販売し、売上金を寄付。株式会社「オープンハウス」、群馬クレインサンダース、ポッカサッポロフード&ビバレッジの協力のもと。2022年6月時点で、2,530本、総額50万4,956円を売り上げる。

英語力＋クリティカル・シンキング



全国高校英語スピーチ優勝（2018）



全国高校英語スピーチ優勝（2022）

学習指導要領改訂の方向性

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない*

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

